

2020年12月4日

新たな追加型株式投資信託商品の取扱いを開始します

株式会社 千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、多様化するお客さまニーズにお応えするため、2020年12月7日（月）より、以下の追加型株式投資信託商品の取扱いを開始いたします。

記

1. 取扱いを開始する商品

ファンド名	商品分類	運用会社
SBI 中小型成長株ファンド ジェイネクスト（年2回決算型） 愛称：j n e x t II	追加型／国内／株式	SBIアセットマネジメント

2. 取扱開始日

2020年12月7日（月）

3. 主な特徴

【SBI 中小型成長株ファンド ジェイネクスト（年2回決算型）／愛称：j n e x t II】

- 革新的な高成長が期待される企業への厳選投資を行います。

中小型成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、現時点では何らかの理由（課題・困難）により割安な株価ではあるものの、将来への成長機会を持つ（＝企業家精神溢れる）、革新的な高成長が期待される企業の株式に厳選投資します。

- エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資に関する助言を受けて運用します。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社は「企業家精神を応援し続け、経済社会の活性化に貢献する」という明快な理念の下、革新的な成長企業などへの投資に対する助言を行います。

ちば興銀では今後もお客さまニーズに幅広くお応えできるよう商品ラインナップの見直しを行い、ご満足いただけるよう努めてまいります。

※投資信託ご購入の際は、契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みいただき、ファンドの内容を充分にご理解のうえ、お申込みください

株式会社 千葉興業銀行 登録金融機関：関東財務局長（登金）第40号 加入協会名：日本証券業協会

- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 当行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当行ではご購入、ご売却のお申込みについて取扱いを行っております。投資信託の設定および運用は各運用会社が行います。
- 投資信託は、投資元本が保証されている商品ではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用結果を約束するものではありません。
- 投資信託の運用による利益および損失は、投資信託をご購入いただきましたお客さまに帰属します。
- 投資信託の基準価額は、組入れ有価証券(株式・債券等)等の値動きにより変動しますので、お受取金額が投資元本を下回る場合があります。
- 組入れ有価証券(株式・債券等)等の価格は、株式指標、金利、その他有価証券等の発行者の信用状態の変化等や、取引が十分な流動性の下で行えない(流動性リスク)等を原因とした値動きにより変動します。
- 外貨建て資産に投資するものは、この他に通貨の価格変動(為替変動リスク)により基準価額が変動しますので、お受取金額が投資元本を下回る場合があります。
- 投資信託のお申込に当たっては、当行所定のお申込手数料(最大 3.3%〔税込み〕)がかかるほか、一部のファンドは換金時に信託財産留保額(最大で基準価額の0.5%)がかかります。また、保有期間中には、信託報酬(実質最大2.42%〔税込み〕程度)がかかるほか、組入れ有価証券の売買委託手数料や監査報酬等のその他の費用(運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません)がかかります。なお、当該手数料の合計額については、お客さまがファンドを保有される期間等により異なりますので、表示することができません。また、上記の費用については、作成時点のものであり今後変更になることもございます。くわしくは、各ファンドの契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- 投資信託をご購入の際は、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みいただき、ファンドの内容を十分にご理解のうえお申込ください。

販売用資料
2020年10月



SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト (年2回決算型) / 愛称: jnext II

追加型投信 / 国内 / 株式

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

本資料のお取扱いについてのご注意

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社により作成されております。○本資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますがその正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証ではありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。○投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは

■設定・運用は



商号等：株式会社千葉興業銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第40号
加入協会：日本証券業協会



商号等：SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 /
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

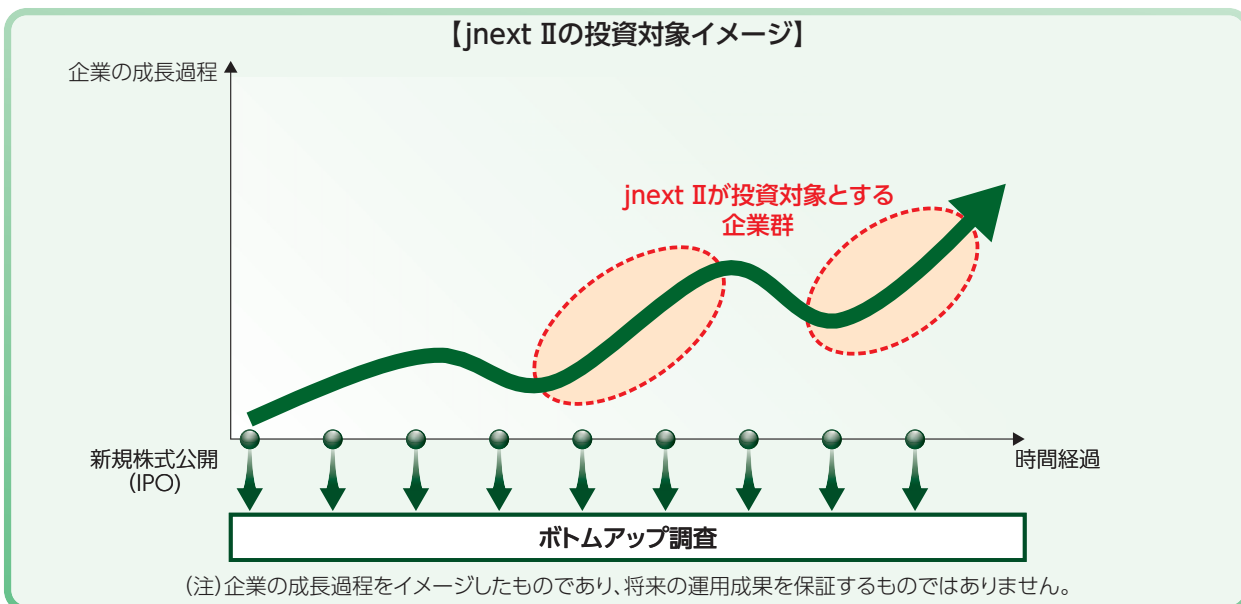
本ファンドは、中小型成長株・マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主にわが国の金融商品取引市場に上場する中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

ファンドの特色

1

革新的な高成長が期待される企業への厳選投資を行います。

マザーファンド受益証券への投資を通じて、現時点では何らかの理由(課題・困難)により割安な株価ではあるものの、将来への成長機会を持つ(=企業家精神溢れる)、革新的な高成長が期待される企業の株式に厳選投資します。



2

エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資に関する助言を受けて運用します。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社(以下、「エンジェルジャパン社」といいます。)は「企業家精神を応援し続け、経済社会の活性化に貢献する」という明快な理念の下、革新的な成長企業などへの投資に対する助言を行います。

ファンドの仕組み

本ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行います。

ファミリーファンド方式とは、投資者の皆様からお預かりした資金をまとめてベビーファンド(本ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンド受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

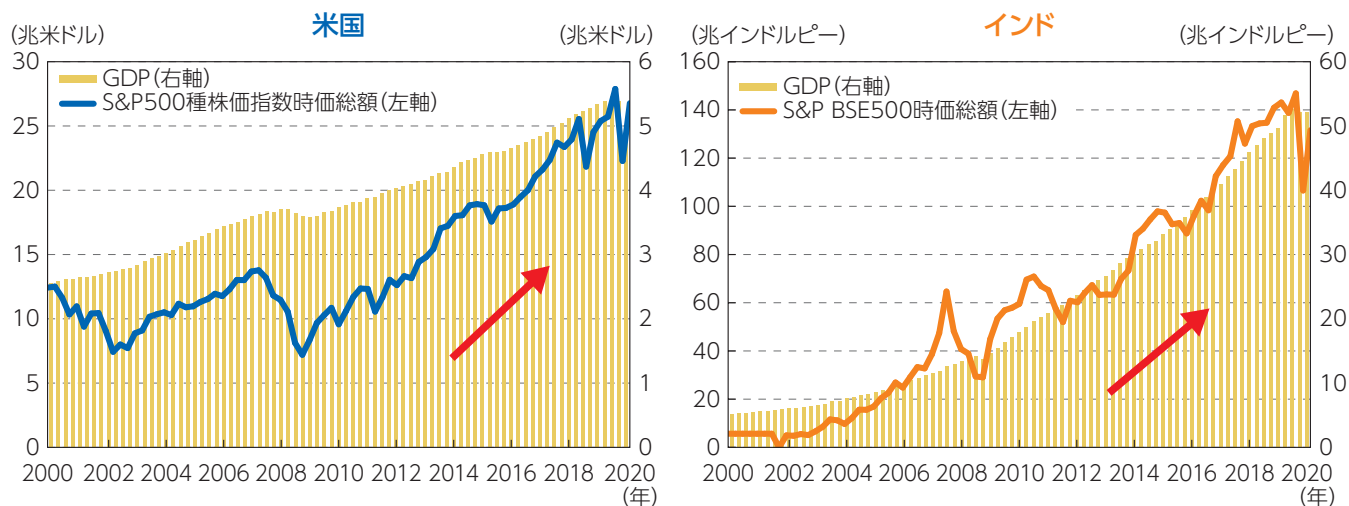
資金動向及び市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

なぜ大型株ではなく、中小型株？ ①

「経済規模の拡大=株式市場の拡大」

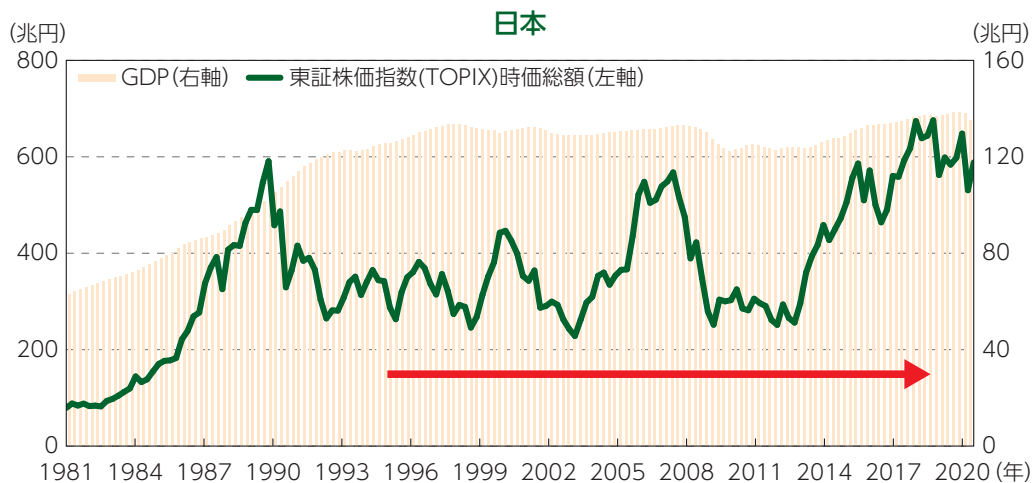
- 一般的に株式市場は自国の経済規模を映す鏡であり、経済成長が堅調であれば、株式市場は拡大し続けます。**米国**や**新興国であるインド**の場合、経済全体の成長とともに株式市場も拡大しています。
- 対照的に日本では、高度経済成長以降、経済規模と株式市場の相関性は薄れています。今後も人口が減少し、国内総生産(GDP)成長率の鈍化が予想される中、堅調な経済成長に基づいた、株式市場の大幅な上昇は見込みがたい現状です。

米国及びインドのGDPと株式市場の推移



※OECD算出の名目GDP(季節調節済)
※データ期間(2000年6月末～2020年6月末、四半期ベース)
[出所]BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

日本のGDPと株式市場の推移



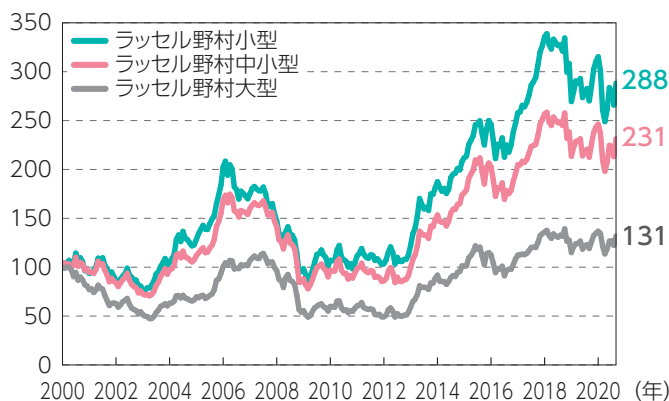
※内閣府算出の名目GDP
※データ期間(1981年～2020年6月末：四半期ベース)
[出所]Bloomberg、東京証券取引所よりSBIアセットマネジメント作成

なぜ大型株ではなく、中小型株？ ②

「新興企業+投資効率性 = 国内中小型株市場」

- しかしながら、国内に目を向けると、新興国と同じように急速な成長を続けている市場が存在します。大型株市場が低迷を続けるなか、中小型株市場は堅調に推移しています。
- 「中小型株」と聞くと、リスクが高いように思われますが、実は大型株や米国株、新興国株(インド株)と比べて、総じて低リスクでかつ相対的に高いリターンを長期にわたって獲得しています。

国内株式市場(サイズ別)の推移



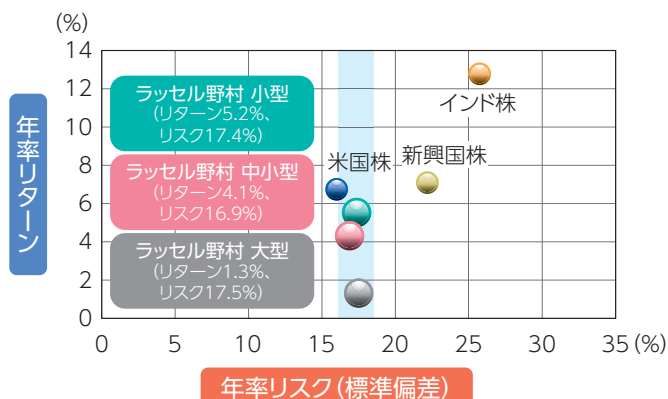
※ラッセル野村インデックスとは、野村証券金融工学研究センターと米ラッセル社が提供する日本株式インデックスです。対象は新興市場を含む日本市場の全銘柄で、日本株式市場全体の時価総額上位98%をカバーします。時価総額上位85%を大型、下位50%を中小型、下位15%を小型と分類します。

※データ期間(1999年12月末～2020年8月末：月次ベース)

※ラッセル野村(小型、中小型、大型)インデックスは基準時点を100として指数化

[出所] BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

投資効率性の比較

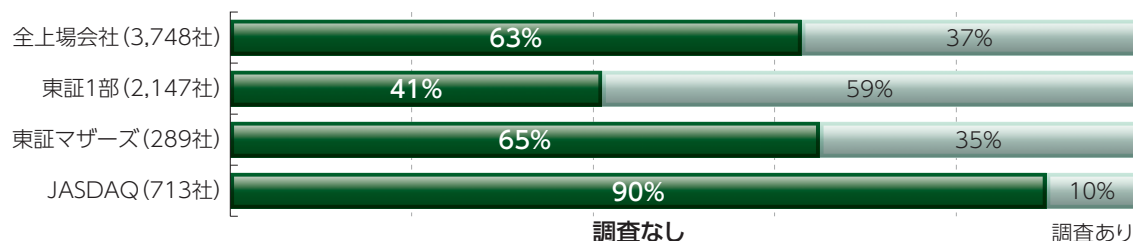


※データ期間(1999年12月末～2020年8月末)

※米国株：S&P500種指数、新興国株：MSCIエマージング指数、インド株：センセックス指数、各指数は円換算後の値を使用

[出所] BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

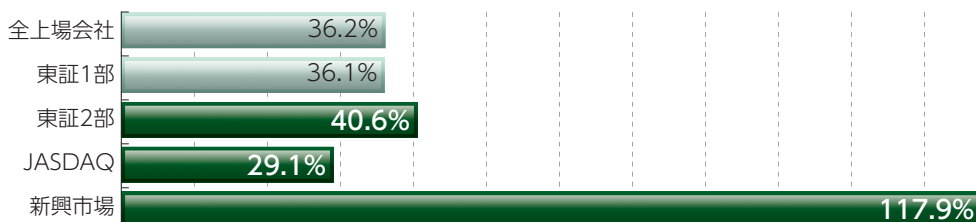
定期調査がされていない企業*の割合



*Bloomberg社に情報提供を行っている証券アナリストの担当が0名の企業を指します。

[出所] BloombergよりSBIアセットマネジメント作成。2020年8月末時点

市場別の来期増益率予想



※新興市場はJASDAQを除く。銀行・保険を含まない。合計には地方単独も含む

[出所] 東洋経済【会社四季報 2020年3集、夏号】より、SBIアセットマネジメント作成。

○巻頭の「本資料のお取扱い」についてのご留意事項を必ずご確認ください。

中小型株投資のプロフェッショナルのご紹介

エンジェルジャパン・アセットマネジメント社について

- 本ファンドの運用助言を行っている同社では、1日平均で約4件、年間約1,000件となる企業調査をチームで行っており、調査活動による蓄積が大きな財産となり、強みとなっています。
- 中小型株市場の特徴として、事業環境の変化が激しく、企業業績、株価の変動も大きくなる傾向があります。つまり、経営者との定期的な面談によって、変化の兆しを見逃さないことが大切と言えます。

エンジェルジャパン社の理念 エンジェル(angel)に込められた思いとは？



同社は中小型株運用に特化した運用助言会社です。英和辞典で「angel」と引くと、良く知られている“天使”という意味の他に“応援する人”という意味があります。株式投資を通じ、次代を切り拓く革新的な成長企業を応援することで、日本経済の重要な担い手のひとつである「中小型成長株式市場」の新陳代謝を促進させ、日本経済全体を応援したい、というのがエンジェルジャパン社の願いの一つです。

代表取締役及び助言チームのご紹介(右より)
 宇佐美代表取締役、内藤執行役員チーフインベストメントオフィサー、
 金沢シニアインベストメントマネジャー、
 柳葉シニアインベストメントマネジャー、永嶋インベストメントマネジャー

強みの源泉となる4つの特色

“経営者と個別面談”

企業面談では必ず、財務担当者でなく、実際に意思決定する経営者とチーム全員で個別面談を行います。

“完全なチーム運用”

新興成長企業は判断が難しいため、様々な経験・視点を持つメンバーによる完全なチーム運用を実施。投資判断は個人に依存しません。

“定期面談”

IPO(株式の新規公開)時にほとんど全ての企業に面談調査を行い、革新的な企業と判断した企業とは、以後、定期的に面談を実施しています。

“厳選50社パッケージ”

革新的な企業を3つの成長ステージに分類し、各ステージごとに今が旬となる「**厳選50社パッケージ**」の構築に努めます。

<助言ファンド受賞履歴(直近3年)>

2018年	「ジェイリバイブ」が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2018優秀ファンド賞」受賞 「ジェイネクスト」が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2018優秀ファンド賞」受賞 「ジェイネクスト」が「トムソン・ロイター リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2018最優秀ファンド賞」受賞
2019年	「ジェイクール」が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2019優秀ファンド賞」受賞 「ジェイネクスト」が「リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ2019ジャパン最優秀ファンド賞」受賞
2020年	「ジェイリバイブ」が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2020最優秀ファンド賞」受賞 「ジェイネクスト」が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2020優秀ファンド賞」受賞(2部門) 「ジェイネクスト」が「リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ2020ジャパン最優秀ファンド賞」受賞

※過去3年間に於けるエンジェルジャパン社の助言ファンドの受賞歴

■「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(毎年3月末における3年間の定量評価。ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

■「リッパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ ジャパン」の評価の基となる Lipper Leader Rating(リッパー・リーダー・レーティング)システムのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。Lipper Leader Rating システムが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、Lipperが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

○巻頭の「本資料のお取扱いについてのご留意事項」を必ずご確認ください。

本ファンドの着眼点

組入銘柄を選ぶポイント

- 1 「成長の踊り場」から、新たな成長期を迎える企業
- 2 株価が過小評価されている企業
- 3 経営者との『個別直接面談調査』の蓄積がある企業

「成長の踊り場」とは

すべての企業が右肩上がりのグラフのように成長していくわけではありません。いかなる成長企業でも、高い成長を長期間維持することは困難です。例えば、次の成長を目指して新製品を開発する、出店エリアを拡大する、などの先行投資を行うことで「成長の踊り場」を経験することが殆どです。また、成長の過程では思わぬ壁を経験することもあります。こうした「成長の踊り場」を乗り越えることで、次の新たな高成長局面に入ります。



※上記はイメージ図であり、ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(エンジェルジャパン社の哲学) 市況に関わらず魅力的なポートフォリオの構築

- マーケット全体の値動きを「日本という森」に、企業をその森を構成する「1本1本の木」に例えると、森全体が明日大きくなるのか、小さくなるのかを的中させることは非常に困難です。
- しかしながら、1本1本の木を丹念に調べて健康状態をチェックすることで、「この木は大きく育ちそうだな」という風に予想することはできます。もちろんその予想が外れることもありますが、マーケット全体の動きを見るよりは高い精度で予想することが可能ではないかと考えております。

極めて慎重な投資手法

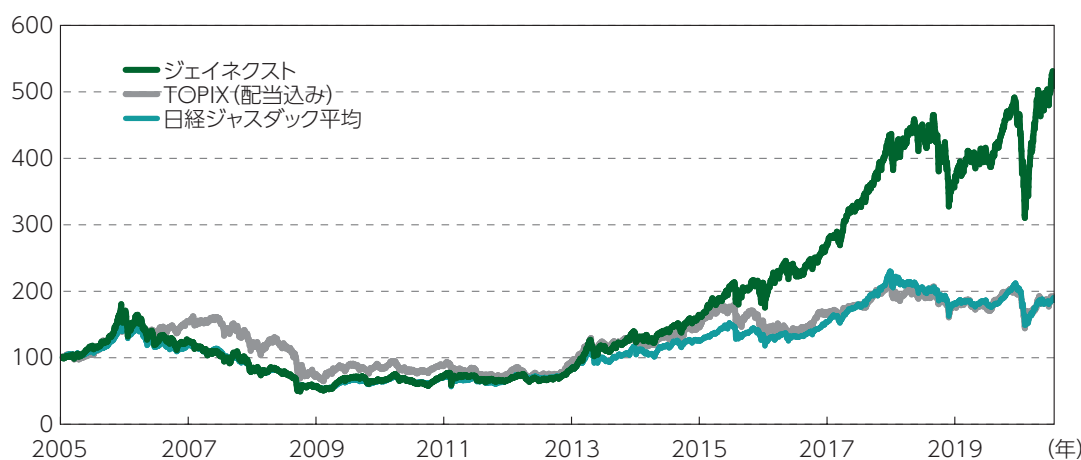
- 本ファンドでは1社に依存しすぎないように分散投資を徹底しています。
- 個別直接面談調査により約50社に厳選して投資を行い、組入れ時には徐々に買付けを行う「時間の分散」も図ります。また、株価が上昇しても1銘柄ごとのファンド組入比率は原則4%未満を維持します。

○巻頭の「本資料のお取り扱いについてのご留意事項」を必ずご確認ください。

今が旬の50社を厳選し市場を上回る収益の獲得を目指す

- 当ファンドでは「成長の踊り場」に差し掛かっている企業で、かつ株価が過小評価されている銘柄50社を厳選、株価上昇に応じて都度入れ替えることで、常に割安な成長企業の組み入れを目指しています。
- これまでのところ、長期に亘って中小型株式市場を上回る収益を確保、年次騰落でも総じて市場を上回る実績を挙げています。

「ジェイネクスト マザーファンド」設定来の推移



累積リターン	
ジェイネクスト	522
TOPIX (配当込み)	191
日経ジャスダック平均	189

※データ期間：2005年2月～2020年8月末、ジェイネクストの設定日(2005年2月1日)の基準価額を100として指数化

※TOPIX (配当込み)、日経ジャスダック平均は本ファンドのベンチマーク及び参考指数ではありません。

[出所]BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

直近のマザーファンド組入銘柄の状況

	期初銘柄数	新規組入	期末銘柄数
年平均*	55	15	52

*2019年8月末～2020年8月末

年次騰落率の推移(2010年～2020年)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
日経ジャスダック平均	6.6%	-4.5%	20.9%	76.0%	17.9%	36.4%	19.6%	57.0%	-14.4%	37.6%	9.3%
ジェイネクスト	6.3%	-6.0%	19.8%	54.4%	15.1%	12.1%	3.5%	44.2%	-16.0%	19.5%	-4.6%
TOPIX (配当込)	1.0%	-17.0%	16.1%	45.3%	10.3%	12.0%	0.3%	22.2%	-18.7%	18.1%	-8.0%

※データ期間：2009年12月末～2020年8月末

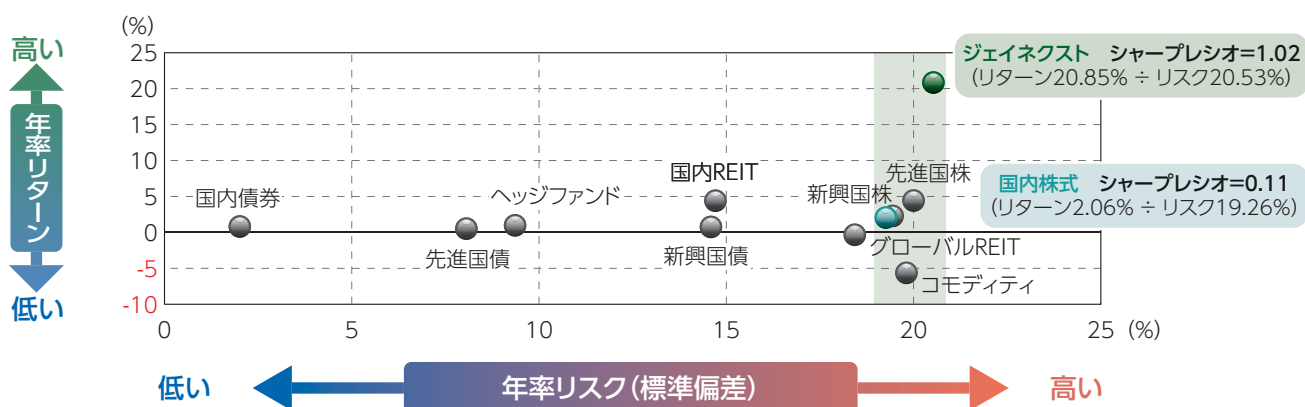
[出所]Bloomberg等のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

リスクの抑制とリターンの向上を実現

- ファンドの運用における投資効率性を示す指標として「シャープレシオ^{*1}」が重視されます。当ファンドは国内株式指標と同程度のリスクで高いリターンを獲得、圧倒的に高いシャープレシオを実現しています。

*1：「シャープレシオ」は、リターンを得るためにどれくらいのリスクをとっているかを示しており、数値が大きいほど投資の効率性が高いことを示します。

各資産クラスとの投資効率比較(期間5年)



※データ期間：2015年8月末～2020年8月末
 ※ジェイネクストは「中小型成長株・マザーファンド」の実績値を使用
 ※各資産クラスはモーニングスターのカテゴリーから算出
 ※先進国株、先進国債券、グローバルREITは日本を除く
 [出所]モーニングスターホームページよりSBIアセットマネジメント作成

「ジェイネクスト マザーファンド」の5年トータルリターンの推移

- 「ジェイネクストマザーファンド」では投資効率の高さゆえ、どのタイミング(月末基準)で投資を開始しても、5年間保有すれば約7割の確率でプラスリターンを得られていたことになります。



	プラスの回数①	マイナスの回数②	勝率 ①÷(①+②)	最大リターン	最小リターン	平均リターン
ジェイネクスト	91	37	71%	444%	-58%	134%
<ご参考> TOPIX(配当込み)	84	44	66%	163%	-55%	37%

※2005年2月～2015年8月の各月末に投資を開始し、5年保有した場合のトータルリターン(騰落率)
 ※「ジェイネクスト」はマザーファンドの実績値を使用
 [出所]BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

○巻頭の「本資料のお取扱い」についてのご留意事項を必ずご確認ください。

個別直接面談に基づく投資銘柄の選定

組入銘柄のご紹介(2020年8月末時点)

※下記の「銘柄紹介」は本ファンドのご理解を深めていただくために会社の開示資料等を基にエンジェルジャパン・アセットマネジメントが独自に作成したものであり、銘柄への投資を推奨するものではありません。また、本ファンドでの保有を約束するものではありません。下記内容は2020年8月31日現在のものであり、将来予告なく変更する場合があります。

エラン (6099、東証1部)

業種：サービス業 時価総額：742億円

事業内容

病院に入院する患者や高齢者施設入所者に対して、衣類・タオル等の日用品類をセット組みしてレンタルするサービスを全国展開。利用者は手ぶらで入院・退院でき、洗濯・交換・補充なども不要で利便性が高いことから、2020年6月末時点の契約施設数は1,473に及び、高い伸びで増加を続けている。

強み・着眼点

- 利用者だけでなく、病院・介護施設の業務軽減やリネンサプライ業者にとっても費用の回収業務や新たな収益機会が得られるなど、3者全てにメリットのある仕組みを構築したことが、成長加速の原動力となっている。直近では、新型コロナウイルス感染拡大により多くの病院では入院患者に対する面会を制限しており、同社サービスに対する需要は一層増えている。



エムスリー (2413、東証1部)

業種：サービス業 時価総額：4.17兆円

事業内容

全国の8割超の医師をはじめ、多くの医療従事者が会員登録する日本最大の医療専門サイト『m3.com』を中心に展開。中核の『MR君』では製薬会社から最新の医療情報や医薬品情報を提供している。また、マーケティング支援や治験支援サービスなど事業領域を拡大しながら海外展開も強化、欧米・アジア10ヶ国で合計500万人以上の医師会員を有している。

強み・着眼点

- 医療従事者に対してこれだけ求心力を持つ専門サイトは珍しく、これを強固な事業基盤として多種多様な収益を生み出しているのが強み。さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、製薬会社のMR(医療情報担当者)が医師と直接面談して薬剤の説明をすることが困難になってきたことから、同社サイトの存在意義が高まっている。また、医師同士・製薬会社との懸け橋に留まらず、医師と患者をつなぐサービスも始まっている。



メディアドゥ (3678、東証1部)

業種：情報・通信 時価総額：966億円

事業内容

電子書籍の取次最大手で、出版社と電子書店の間を取り持つ存在。電子書籍の流通には、電子化した“コンテンツ”、“配信エンジン”、“書店構築管理システム”、“閲覧ソフト”が必須だが、これらのシステムを開発・提供して、出版社・書店双方の業務効率改善・サービス向上に貢献。国内電子書籍流通の34%は同社を経由するなど、業界内で不可欠な存在に。

強み・着眼点

- 先行していた漫画に加えて小説など文字作品も電子化が進んでおり、今後はコロナ禍による巣籠需要によって市場の急速な拡大が見込まれる。
- さらに、取次だけでなく電子書籍の流通全体を支える存在への進化を図っている。例えば、“ブロックチェーン”と呼ばれる分散型台帳技術を活用したサービス開発しており、完成すると電子コンテンツに所有物の概念が付与され、中古として売る、別の利用者に貸す、といった新しい利用形態が生まれる。その基盤となる次世代システムに向けた準備を着々と進めている。



※写真はイメージです。

投資リスク

基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。**

信託財産に生じた**利益及び損失は、全て投資者に帰属します。**また、**投資信託は預貯金と異なります。**

主な変動要因

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が下落した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。
流動性リスク	株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
信用リスク	投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。

ファンドの関係法人

<委託会社>

SBIアセットマネジメント株式会社

(ファンドの運用指図を行います。)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会

<受託会社>

三井住友信託銀行株式会社

(ファンド財産の保管・管理等を行います。)

○巻頭の「本資料のお取扱い」についてのご留意事項を必ずご確認ください。

お申込みメモ

お申込みメモ

購 入 単 位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。(当初元本1口=1円) 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 価 額	購入申込受付日の基準価額 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購 入 代 金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
換 金 単 位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換 金 価 額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額となります。 換金手数料はかかりません。
換 金 代 金	換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
申 込 締 切 時 間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※受付時間は販売会社によって異なることありますのでご注意ください。
換 金 制 限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購 入 ・ 換 金 申 込 受 付 の 中 止 及 び 取 消 し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信 託 期 間	無期限(設定日：2015年12月11日)
繰 上 償 還	受益権の口数が10億口を下回る事となった場合等には繰上償還となる場合があります。
決 算 日	年2回(原則として1月と7月の各22日。休業日の場合は翌営業日。)
収 益 分 配	年2回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信 託 金 の 限 度 額	2,000億円
公 告	原則として、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。 http://www.sbiam.co.jp/
運 用 報 告 書	ファンドの決算時及び償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて交付します。
課 税 関 係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。

本ファンドに係る費用・税金

ファンドの費用

■投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.3% (税抜: 3.0%) を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明、情報提供及び事務手続き等にかかる対価
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3% を乗じて得た額とします。	換金に伴う有価証券売買委託手数料等の費用

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンドの日々の純資産総額に年1.639% (税抜: 年1.49%)を乗じて得た額とします。信託報酬は毎日計上され、毎計算期末及び信託終了のときファンドから支払われます。 信託報酬=運用期間中の基準価額×信託報酬率 <信託報酬の配分 (税抜)></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>料率</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>年0.94%</td> <td>ファンドの運用、基準価額の算出、ディスクロージャー等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年0.50%</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年0.05%</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記各支払先への料率には、別途消費税等相当額がかかります。 委託会社の報酬より、投資顧問(助言)会社への報酬が支払われます。</p>		支払先	料率	役務の内容	委託会社	年0.94%	ファンドの運用、基準価額の算出、ディスクロージャー等の対価	販売会社	年0.50%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価	受託会社	年0.05%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
支払先	料率	役務の内容												
委託会社	年0.94%	ファンドの運用、基準価額の算出、ディスクロージャー等の対価												
販売会社	年0.50%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価												
受託会社	年0.05%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価												
その他の費用及び手数料	<p>ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご負担いただきます。これらの費用は、監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。</p>													

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

税金は以下の表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法などにより異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分 配 時	所得税 [*] 及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時及び償還時	所得税 [*] 及び地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※復興特別所得税を含みます。

- ・ 上記は2020年7月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- ・ 少額投資非課税制度「愛称:NISA (ニーサ)」、未成年者少額投資非課税制度「愛称:ジュニアNISA (ジュニアニーサ)」をご利用の場合NISA及びジュニアNISAをご利用の場合、毎年一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・ 法人の場合は上記とは異なります。
- ・ 税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。

○巻頭の「本資料のお取扱いについてのご留意事項」を必ずご確認ください。